

新型コロナウイルス感染症患者（2例目）の発生について（第3報）

令和2年3月25日（水）に確認された新型コロナウイルス感染症患者（2例目）の濃厚接触者の状況及びPCR検査の結果は次の通りです。

1 勤務先及び顧客等

3月27日に第2報で公表した19名以外に、顧客について聞き取りを進める中で、来店者として3名の濃厚接触者がいたことが患者本人からも確認できたことから、濃厚接触者の合計は22名となった。

第2報で公表した19名についてPCR検査を実施し、1名が陽性、18名が陰性であることを確認した。また、新たに濃厚接触者と判断した3名のうち1名についても、PCR検査を実施し、陰性であることを確認した。残る2名についてもPCR検査を実施する予定である。（後日、検査結果を情報提供予定）

保健センターからは、新たに濃厚接触者と判断した3名について、患者との最終接触日が異なることから、2名に対しては4月3日まで、1名に対しては4月7日まで、健康観察を実施するとともに、不要不急の外出の自粛を要請した。

2 屋外スポーツ施設B（東広島市）

第2報で陰性を公表した1名以外に、施設所在地を所管する広島県から、施設従事者に濃厚接触者はいなかったが、施設利用者には濃厚接触者がおり、このうち本市在住については4名が該当しているとの連絡があり、濃厚接触者は合計5名となった。

新たに濃厚接触者と判断された4名全員について、PCR検査を実施し、全員が陰性であることを確認した。

保健センターからは、新たに濃厚接触者と判断された4名に対し、4月6日まで、健康観察を実施するとともに、不要不急の外出の自粛を要請した。

【参考】濃厚接触者の状況

区 分	濃厚接触者			PCR検査			
	27日 公表分	29日 公表分	合計	陰性	陽性	今後 予定	合計
勤務先及び顧客等	19	3	22	19	1	2	22
屋外スポーツ施設A	3	0	3	3	0	0	3
屋外スポーツ施設B	1	4	5	5	0	0	5
A医療機関	0	0	0	—	—	—	—
B医療機関	0	0	0	—	—	—	—
C薬局	0	0	0	—	—	—	—
合 計	23	7	30	27	1	2	30

令和2年3月29日

広島市新型コロナウイルス感染症対策本部

新型コロナウイルス感染症の感染者（3例目）の発生について（第1報）

令和2年3月28日（土）、広島市衛生研究所における検査により、3月25日（水）に感染が確認された本市2例目の患者の勤務先の顧客（濃厚接触者）の1人が、咳や発熱などがない新型コロナウイルス感染症の無症状病原体保有者であることが確認された。

当該者の居住地は広島市で、現在、感染症指定医療機関に入院中であるが、その他プライバシーに係る事項については、当該者の同意が得られないことから非公表とする。

なお、感染症学の専門医によると、「無症状病原体保有者から他者への感染の可能性は極めて低く、積極的疫学調査の必要はない」とのことであり、濃厚接触者はいないと考えている。

新型コロナウイルス感染症患者（4例目）の発生について（第1報）

令和2年3月27日（金）、広島市内の医療機関から、新型コロナウイルス感染症を疑う患者が受診している旨の連絡があり、本市衛生研究所で検査を実施したところ、3月28日（土）、陽性であることが確認された。

1 患者概要

- (1) 年代：50歳代
- (2) 性別：男性
- (3) 居住地：広島市
- (4) 職業：会社員
- (5) 症状：発熱、咳、肺炎（現在、症状は安定している。）

2 行動、症状の経過等

- 3月21日（土） 倦怠感があり会社を早退し、以降の出勤なし
夜に39.0℃の発熱
- 3月22日（日） 倦怠感継続。日中は36℃代後半から37℃代後半、夜間は39.0℃の発熱
- 3月23日（月） A医療機関を受診。インフルエンザ陰性
- 3月24日（火）～3月26日（木）
日中は36℃代後半から37℃代後半、夜間は39.0℃の発熱が継続
- 3月25日（水） 食欲不振。
- 3月26日（木） 咳出現
- 3月27日（金） 39.0℃の発熱。保健センターに相談の上、A医療機関を再受診
胸部CT検査の結果、入院を要する肺炎の所見があり、医師が保健センターと協議の上、新型コロナウイルス感染症を疑い、感染症指定医療機関への受診を誘導し入院
検体を採取
遺伝子検査の結果、新型コロナウイルス陰性と判明
- 3月28日（土） 医師が新型コロナウイルス感染症を強く疑い、再度検体を採取
遺伝子検査の結果、新型コロナウイルス陽性と判明

※本人からの申告によれば、発症前14日以内に渡航歴はない。

3 今後の対応

- ・現在までに確認できた患者の行動歴をもとに、濃厚接触者あるいはその可能性のある者に対し、患者との接触状況や健康状態についての把握など、逐次、積極的疫学調査を実施しているところである。
- ・更に患者の詳細な行動歴の確認を行った上で積極的疫学調査を行い、その結果をもとに、当該濃厚接触者に対する、健康観察（毎日の体温確認等）と、必要に応じてPCR検査を適切に実施することとしている。
- ・この調査により把握した感染拡大防止のために必要な情報は、速やかに市民に広く提供することとしている。国内では感染者数の増加とともに、感染経路が不明な感染者や集団感染事例が報告されており、さらなる感染拡大が懸念されている。市民の皆様には、引き続き、咳エチケットや手洗いの励行など感染予防対策にご協力をいただきたい。

